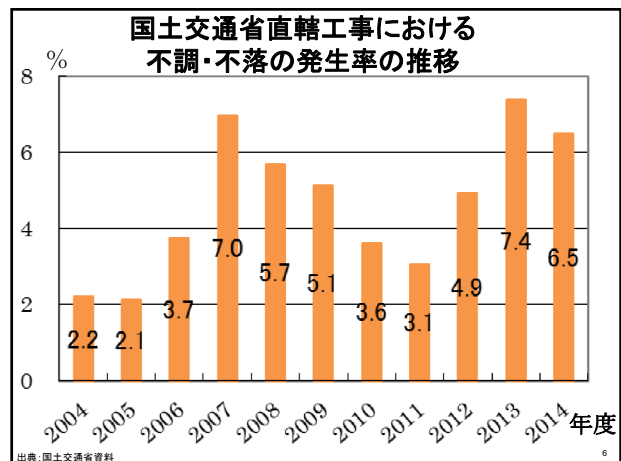
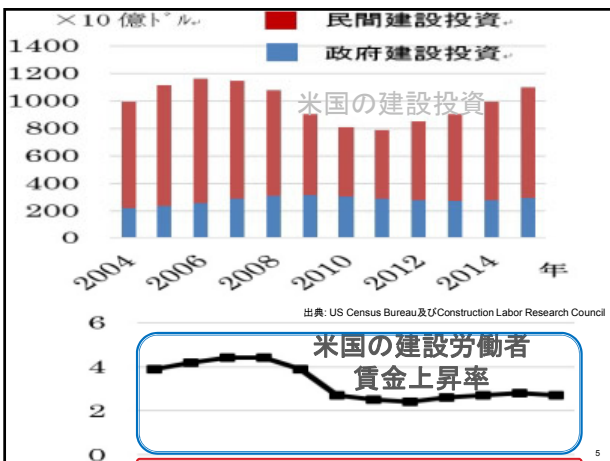
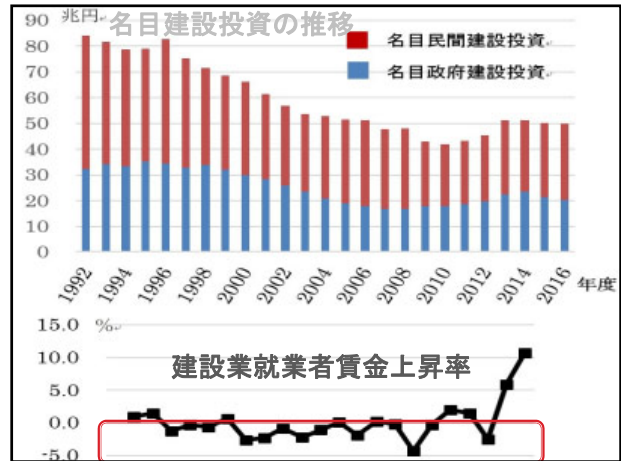
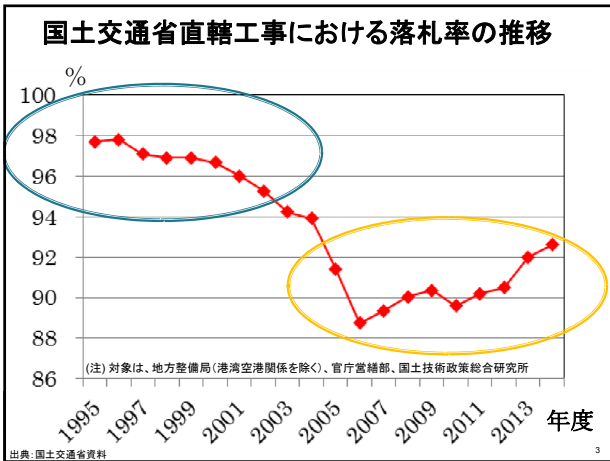
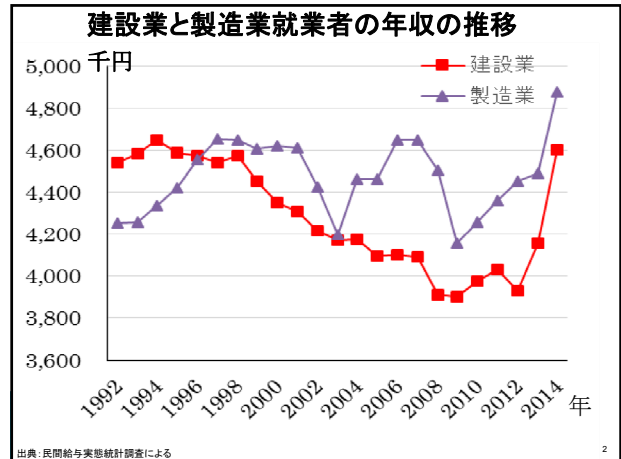
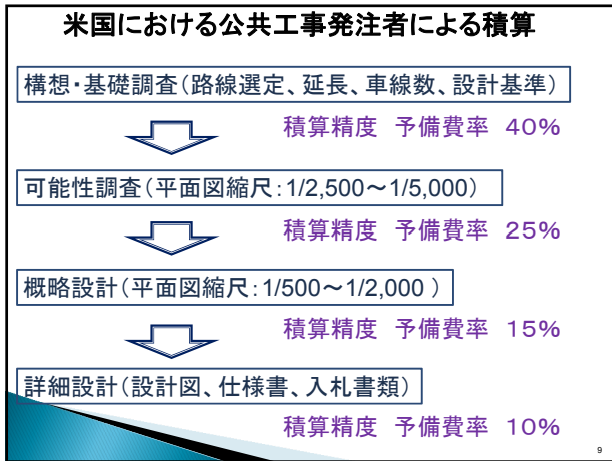
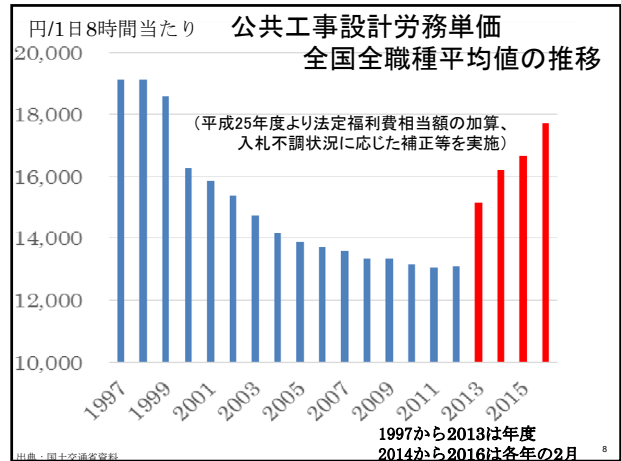
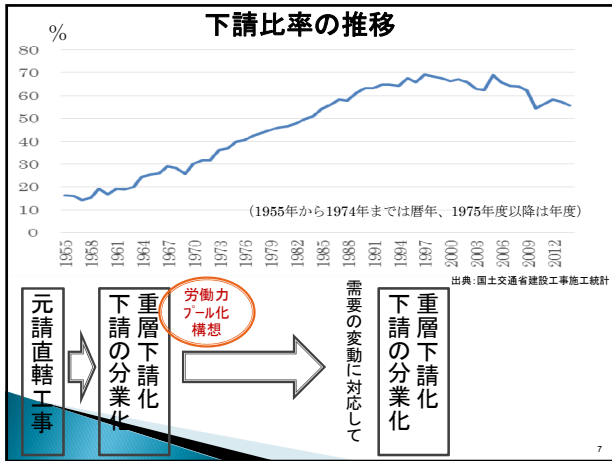


建設生産システムにおける価格決定構造に関する研究(中間報告)

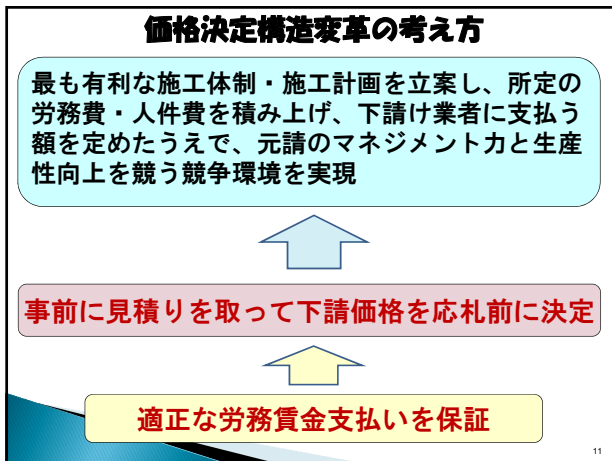
平成28年5月25日

日本大学 木下 誠也





- ### 米国の公共工事における元請・下請の関係
- 元請の役割はマネジメント中心
 - 元請施工10~30%以上で直雇割合が指定される
 - 元下間の上下関係はなく、下請の自立性は高い
 - 元下間でリスクを分担し、互いの権利や責任が明確
 - 元請は入札の直前までに下請から見積りを取りそれに基づいて下請を選定した上で応札
 - 再下請の制限はないが、コストや管理上の問題から下請次数は少ない
 - 建設会社は、地域ごと職種ごとに存在するユニオンと契約し、所属の作業員を使って工事を行う。
 - 元請はユニオン所属の作業員を自社の従業員とし施工機械は自ら保有しようとする
 - 労務賃金は Davis-Bacon法、ユニオン協定等による



ご静聴ありがとうございました

m(。・ε・。)m